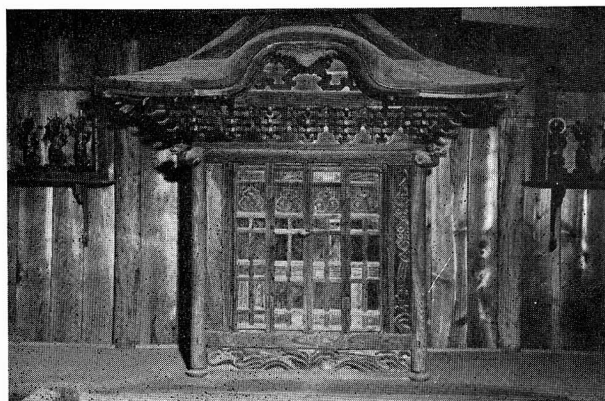




石原の宝蔵院と薬師堂(左)



石原村薬師如来の須弥殿(41.12.27)

2、白山清水の用水 白山沼の灌漑を考えてみなくてはならない部落であるから、古い村はその清水に近く、現在の村の位置より南にあったらしい。やがて白山清水下、及び現在の村南沿いから、西の現在の高津屋敷辺にかけて相当大きな湧水地帯が、大正中頃まであって、耕地整理後、現在のように開田・開畑されたのであるから、村の発達と共に、白山清水下の、もう一つの清水をたどって、現在の村の位置に発展してきたのかも思われる。しかしこれが事実であったとしても古いことで、村中に館を築いた中世以後は現在の移置に移っている。

### 3、薬師堂と宝蔵院

村には大変伝承の古い薬師堂がある。真言宗石沢山宝蔵院の西隣にある。康保改元の年(元年—九六四) 积久光開くとある。実はこのことは文化六年(一八〇九)の新編会津風土記にも書上げがあつて、寛文四年(一六六四)の孟蘭盆に子供たちが松火を焚いた中に「康